



2



4



8



1



5



3

パリのアール・ヌーヴォー
— 19世紀末の華麗な技と工芸 —

オルセー美術館展

Art Nouveau et Industrie du luxe à Paris

蔓草を思わせる優雅な曲線模様を特色とする“アール・ヌーヴォー”は19世紀末から20世紀初頭にかけてヨーロッパを席捲した装飾芸術です。

オルセー美術館は、アール・ヌーヴォーが最高潮に達した1900年パリ万博に際して建設されたオルセー駅を改築したもので、19世紀美術の殿堂として知られています。

本展は、オルセー美術館が誇るアール・ヌーヴォー・コレクションから代表的な名品95件147点を一堂で紹介する国内初の展覧会です。当時の豪華な住空間を髣髴させるアール・ヌーヴォー様式の家具、工芸、装飾品などを展示するとともに、この時代を象徴する人物である建築家エクトル・ギマールと女優サラ・ベルナール、そして、アール・ヌーヴォーを支えた工芸家達の磨きぬかれた技と美意識にスポットを当てます。

また、この機会にウッドワン美術館が所蔵するガレヤドームのガラス作品16点を特別展示し、国内に所蔵される絵画・版画作品25点とあわせて、アール・ヌーヴォーのきらめきを堪能していただきます。



6



7

1. ルイ・マジョレル / ドーム兄弟(テールランブ"睡蓮") 1902-1904年頃のモデル ©RMN (Musée d'Orsay) / Hervé Lewandowski / distributed by DNPpartcom
2. ウジェーヌ・グラーセ / フェリックス・ゴダン(ハーモニー) 1893年 ©RMN (Musée d'Orsay) / Mickèle Bellot / distributed by DNPpartcom
3. ボール・フォロ / クリストフル社(ティーセット) 1903年頃のモデル ©RMN (Musée d'Orsay) / Droits réservés / distributed by DNPpartcom
4. エクトル・ギマール(天井灯) 1909-1911年頃のモデル ©RMN (Musée d'Orsay) / Droits réservés / distributed by DNPpartcom

5. ジョルジュ・バスター(鳥子"孔雀") 1913年 ©RMN (Musée d'Orsay) / René-Gabriel Ojéda / distributed by DNPpartcom
6. ジョルジュ・レイ(推定) (針掛け椅子"昼と夜") 1900-1906年 ©Musée d'Orsay, Dist RMN / Patrice Schmidt / distributed by DNPpartcom
7. フェリックス・ナダール撮影(サラ・ベルナール) 1895年(※資料展示) ©RMN (Musée d'Orsay) / Droits réservés / distributed by DNPpartcom
8. アルマン・ボワ / シェルル・ウイリオン / オート=クレール組立工房(蛇形脚付き小櫃) 1897-1899年 ©RMN (Musée d'Orsay), Dist RMN / Jean Schormans / distributed by DNPpartcom

講演会

「女優サラ・ベルナール -アール・ヌーヴォーの詩神伝説-」
講師：白田由樹(19世紀フランス文化・文学研究者、大阪市立大学講師)
4月29日(木・祝日) 13:30~

「アール・ヌーヴォーのなかのく日本」 広島県立美術館友の会共催
講師：馬淵明子(美術史家、日本女子大学教授)
5月9日(日) 13:30~
※いずれも会場は地階講堂、13:00開場、先着200名様。

ギャラリートーク

担当学芸員が展示室内で作品解説をします。
会期中毎週金曜日11:00~ 3階企画展示室(本展の入館券が必要です)

ロビーコンサート

ライアー(堅琴)のやさしい音色をお届けします。演奏：松原里香
5月15日(土) 13:00~14:00 1階ロビー

ワークショップ

「ぬりえ〜ミュシャの版画に色鉛筆で自分だけの色をぬる」
(当日自由参加) <協力>川崎市市民ミュージアム
4月17日(土)・18日(日) 11:00~17:00
講師：広島市立大学大学院生

「七宝でアクセサリを作る〜ヨーロッパ工芸の花・七宝を体験」
(事前申込制)
①4月25日(日) 13:30~ [定員30名]
講師：菅坂安子(七宝作家、日本工芸会正会員)
②5月16日(日) 10:00~ / 13:30~ [各回定員15名]
講師：栗根仁志(七宝作家、日本工芸会正会員)

※いずれも会場は3階ロビー。
①②に参加を希望する場合は、①は4月17日、②は5月8日まで往復はがきで広島県立美術館(オルセー美術館展イベント担当)までお申し込みください。その際、往信欄にワークショップの番号(②の場合午前・午後も)、住所、氏名、年齢、電話番号、及び返信用はがきに宛先を記入してください。所要時間は2時間程度、参加料は1,500円程度です。

よくわかる解説付き「オルセー美術館展」鑑賞会

担当学芸員が鑑賞の参考となる展覧会のミニ・レクチャーを行います。5月23日(日) 13:30~、地階講堂(開場は13:00)、参加者は団体料金で入館できます。

アール・ヌーヴォーと洋菓子

パティシエによる解説を聞きながら洋菓子をお楽しみいただけます。
4月24日(土)・5月15日(土) 各日10:00~11:00
参加料2000円、3階ティールーム、各日先着25名様
Tel.082-221-6246

★5月4日はエミール・ガレ・デイ

植物や小動物を愛したアール・ヌーヴォーを代表する装飾芸術家エミール・ガレの誕生日を記念して、花が昆虫の模様を身につけたお客様にオリジナルポストカードプレゼント

★オルセー美術館展開催記念 パリ航空券プレゼント (協力:エイチ・アイ・エス)

オルセー美術館展ご来館の際に、クイズに答えた方から抽選で1名様に、パリ往復航空券を1名様にプレゼント。詳しくはエイチ・アイ・エス Tel.082-545-8788「オルセー美術館展開催記念 パリ航空券プレゼント」係まで

入館料

	当日	前売/団体
一般	1,200円	1,000円
高・大学生	800円	600円
小・中学生	600円	400円

※団体は20名以上
※学生券をお求めの際は、学生証のご提示をお願いいたします。(小学生は除く)

前売券発売所 / 広島県立美術館、チケットぴあ(PCODE 764-077)、ローソンチケット(LCODE 67940)、広島市・呉市の主なプレイガイド、画廊・画材店など
★ゴールデンウィーク4月29日(木・祝日)~5月5日(木・祝日)は小・中学生無料★



◎JR広島駅より約1km ◎広島城より約400m
◎市内電車「八丁堀」で乗り換え白鳥線で「縮景園前」下車約20m

特別展示



ウッドワン美術館所蔵
エミール・ガレ(草花文脚付杯)
1900年

広島県立美術館
HIROSHIMA PREFECTURAL ART MUSEUM

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22 Tel.082-221-6246 Fax.082-223-1444 http://www.1.hpam-unet.ocn.ne.jp/